



早春の陽光を浴びて—ミモザ

立教池袋高等学校

# 高校卒業生へ

## 君たち立教生が活躍する時代

校長 鈴木 弘

卒業生の諸君、卒業おめでとうございます。君達を迎える現代社会では、いま急速な科学の進歩や国際化の進展を受けて、人々の暮らしがどんどん豊かで便利になる一方、市場主義が生活のあらゆる場面に厳しい競争や対立を持ち込んでいます。この自由競争の激化は格差社会をますます助長し私たちにとって大きな試練となつていきます。しかし、それは同時に、一人ひとりが自立した個人として二十一世紀を生き抜く力と、世界に向かって開かれた成熟社会を築くために、避けて通ることのできない過程のようにも思われます。君たちには志を高く掲げ、このような社会の中で自分に与えられた力で、何が出来るかを真剣に考え、時代を切り拓く先駆者になつてほしいと願っています。

その意味からも、君たちが聖書から学んだ次の三つのことを、卒業に当たりも一度心に思い起こして欲しいと思います。一つは、まず自分に神様から与えられた賜物、つまり自分の能力・タラントに気づきそれを磨いて欲しいということです。君たちは一人ひとり、皆異なった賜物を持ってこの世に生を受けています。誰ひとり同じ人はいません。自分を問いただし、神様から授かった自分の潜在的可能性をさらに追求して欲しいのです。自分に与えられた賜物に気付いていないことほど残念な

ことはありません。君たちには磨けば光る素晴らしい個性や特性が必ずあることを自覚して欲しいのです。そして、それを武器として社会のため人のため活かせて生きていって下さい。二つめは、立教で学んだ一人として、ヨハネによる福音書の「自分を愛するようになり、あなたの隣人を愛しなさい」という聖書の言葉を基本として生きていって欲しいと言うことです。この隣人を愛する通ずることは、現代の貧困や格差社会を改め、争いや紛争をなくすためには、皆が自分と同じように他の人を大切に

する、隣人愛に基づく社会を築く以外にはないと考えます。これからの「未来社会」では隣人愛をもって生きることが、混沌とした日本社会にとつて、また、競争や経済競争に明け暮れている世界にとつて、とても大切であると思います。そして三つ目は、いつも「祈ること」を忘れないで欲しいと言うことです。人間の間には限界があります。また、人生は思い通りになることばかりではありません。失望することもあつて失うこともあつて希望です。どんな時でも「祈ること」を忘れない人生を送って下さい。

終わりに、君達がこの立教で得たものを大切に、これからの生活を意欲的に送り、愛と知恵を持ってこれからこの時代に大いに羽ばたいてくれることをお祈りします。

### 眼の輝きを忘れずに

君達が入学の年に、新教室棟・新体育館・人工芝のグラウンドが完成して、入学式の日、早朝から降っていた雨は上がり、薄日の中、完成して間もないグラウンドの隅にあるタウランにクラスごとに集合して中学校生活が始まりました。私自身久しぶりの中学組主任なので、正直どのよう中学生に接してよいか戸惑いがあつた。だがその不安は一瞬にして消え去った。集合した時の君達の眼の輝きが私の心を希望と自信に満ちてくれた。あれから三年が過ぎ、今の君達には次のステージに向けてどれだけ希望と自信があるだろうか。もし失いつつある生徒がいるならば原因は私達にもあるだろう。だがその点ばかりに固執せず自分の三年間も振り返つてほしい。次の三年間もきっと早い筈。怯む事なく、もう一度入学まであの時の輝き取り戻して欲しい。中学卒業おめでとう。(二組 橋本博)

### 学び終えたか

「卒業」を調べてみると「学校の全課程(一学期間に割り当てられた学習や作業の範囲、順序)を学び終えること」とあつた。学び終えたか、授業で習った内容を消化したか、登下校や昼食時間、係や委員の仕事、日々の生活すべてが学びの舞台になる。校外学習など祭も盛りだ。運命はしていかない? 授業に真摯に取り組んでいる? 提出物の期限は? クリアしている? いれば、高校での学習には大丈夫。委員会や日直の仕事は大丈夫。掃除はどうだ? できない生活は? 社会で通用しない。先生たちにも日直や委員会に自分自身を律することや自分を集団に役立てる術を身につけるのは、全教科合格すること以上に大切だ。おぼろげに、ちやんとフットワークをおいてほしい。(二組 荻野朝行)

### 気持ちをこぼす

卒業おめでとう。三年間の学校生活をこうして無事に終えられたことは、素晴らしいことだと思います。そこには、あなたたちの周りの多くの人の支えがあつたことを忘れて下さい。後期の授業の中で「ことば」の大切さを学んだと思いますが、あなたが学んだことを伝えることが上手くありません。三年間支えてもらった家族に、つらいことがあつた時助けてくれた友人に、一緒に戦ってきた部活の仲間に出して伝えていきますか。大事なことは、時にことばにしないと伝わりません。どうか、自分の気持ちをこぼすことができるカッパを身につけてほしい。(三組 廣瀬由紀)

### 歌を歌おう

私が本校に奉職して一番驚いたのは入学式と卒業式で、度々起立をして歌うことである。その中で一番印象に残っているのは卒業式の聖歌「神とよいまして」の「また会う日まで」という歌詞である。再び会うというのは人生の中でかなり難しい部類で、顔を合わせなくなつた同窓生が幾らいるかと考えると恐ろしくなると熱々思う。君たちと出会えたことはそれだけ特別なことであつた。そして、一緒に過ごした三年間は決して忘れられないかけがえのないものであつた。ありがとうございます。(四組 対馬剛)

## 高三組主任より

### 妥協なき人生を

卒業おめでとう。三年間があつたと言う間に過ぎてしまふ少し寂しさを感じています。「忙しい」と言う人をよく聞きますが、忙しいとは神様から愛されている証拠です。つい我々は何でも私だけと思つてしまふがちですが、そのような気持ちで心構えをするのがよくありません。何事にも事を成し遂げるには沢山の苦労や知恵や工夫が必要となります。如何なる些細な事にも細心の注意を払い、妥協無く事にあたつていって欲しいと願っています。時には苦しく悩むこともあるでしょうが神様から愛されている人程試練を与えられるのです。どうか大学、社会人になつてもこのことを忘れず、世の為人の為に貢献する人となつて下さい。(二組 西澤宏佳)

### 卒業に向けて

卒業おめでとう。飛び込んでいくことになりませんか。「海を見に行く」自由がもうそこにやってくる。君たちにどんな大人になつてほしいかと考えてみたのですが、一言でいうと「バランスのよい人間になる」ということです。自分の権利だけを主張するだけでなく、しつかりと周りを見て、責任を果たす人間になる。簡単なようでも、実は究極の目標なのかもしれません。情報の発信者となることも多くなるこの時代だからこそ、発言には責任が伴ってきます。きちんと裏付けのある、真実を語る、また、多くの情報の中から真実をしっかりとつて評価する。そのような場においては、物事を公平な目で眺める、バランス感覚の確かさというが必要になります。ではないかと思つていきます。(二組 高橋 整)

### ことばにならない

人は余りに悲しすぎるとことばを失う。私はこの三年間、君たちと一緒に生きた。笑つた。泣いた。怒つた。走つた。叫んだ。生きた。生きた。命をかけて、その瞬間に燃えて、生きた。何も言えない。ことばが見つかれない。何を言つても、君たちと過ごした時間を超える名言はないから。別れが淋しい。つらい。でも、もう時間が来た。嫌だ。君たちともつと一緒で過ごしたい。話したい。サッカーしたい。国語を教えたい。涙で画面が見えない。君たちのことが大好きだ。自分はずっと君たちの教師だ。もう一回言う。君たちのことが大好きだ。(三組 飯高雅彦)

### 卒業おめでとう

私の印象に残っていることの一つに、高二の家庭科の授業で作つたおむつの件があります。今年の取組感謝礼拝後の施設訪問で私は重度心身障害者施設で秋津療育園に訪問者から紙おむつを作つたのですが、君たちが作つたベツト下の防水シートや雑巾として今だに大活躍しています。今後も立教池袋高校からのおむつと感謝として君たちに伝えられました。君たちはここまで意識しておむつを作つたのではなく、技術が確実なことや身に付けた立脚点です。大学でも学びが自分の為だけにではなく、周囲の人も幸せにするというのを忘れず、勉学に励んでください。(四組 山口弘泰)

2016年度 立教大学 推薦入学者数

学部	学科	専修	推薦枠	決定数
文	史	キリスト教	2	0
		日本史学	7	9※
		世界史学		
		超域文化学		
		教育	4	4
	文	英米文学	5	7※
		ドイツ文学	2	0
		フランス文学	2	0
		日本文学	4	3
		文芸・思想	3	1
経済	経済	11	11	
	会計ファイナンス	6	6	
	経済政策	6	6	
理	数	(2)	1	
	物理	(2)	2	
	化	(2)	0	
	生命理	(2)	0	

  

学部	学科	推薦枠	決定数
社会	社会	5	5
	メディア社会	5	5
	現代文化	5	5
法	法	13	13
	政治	4	4
観光	観光	6	6
	交流文化	6	3
コミュニティ福祉	福祉	5	0
	コミュニティ政策	5	0
	スポーツウエルネス	4	1
経営	経営	8	8
	国際経営	6	6
現代心理	心理	5	1
	映像身体	6	3
異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション	5	5
	異文化コミュニケーション		
合計		152	119

※ 新座校よりそれぞれ2つ枠を受ける。理学部は、各学科4名まで。ただし、理学部全体では8名まで。

2015年度 立教大学被推薦者の英語条項

英検2級 (TOEFL, TOEIC 等も含む) 以上で認定	73%
英検準2級 (TOEFL, TOEIC 等も含む) + a で認定	27%

英語条項

今年度は英検・TOEICで、ハイスコアを取った生徒が大変多かったようです。百十九名が認定され、このうち、英検二級(またはTOEFL・TOEIC等)と同程度のスコア)以上の有

自己推薦

資格者が八十四名となりました。高三全員を対象に行われたTOEIC(IP)やGTECにおいても大きな成果をあげました。

自己推薦は七項目あり三項目申請できるのですが、ほとんどの生徒が学業面と生活面から申請をしました。学業面は三年間でA合格(B合格二個でA合格に相

今日の聖句

あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。

立池生よ、「神の世界」の良き世話役(steward)であれ！ (ペトロの手紙一 4章10節)

中学一年便り

「認める」

周りの人に認められたいという気持ちは多くの人が持ち合わせている欲求である。

その気持ちがモチベーションとなり頑張ることができるとある。ただ、時にはその欲求がマイナスに働いてしまうケースも見られる。

友だちに嫌われたくない。能力がないと思われたくない。認めてもらいたい気持ちが強すぎて、逃げてしまうことはよくあることだと思

自分の信念を曲げた時、自分が望まない評価をされていると感じた時には、無気力になってしまいう気持ち

運動や勉強、友達とのつき合い方など誰にでも得意じゃないことはある。周囲を気にしすぎると窮屈になる。思ったことを表現し、今の自分を受け入れ

考えを伝え合うから新しい魅力が見えてくると思う。みんなそれぞれ良いところがあるから面白い。欲求と上手につき合いたいと思

(齋藤壽春)

中学二年便り

「壊す」勇氣

今年度から、担任として学年に関わるようになった。授業中、「賑やか」で少し困るなあと思

大いに沸かせたのはラグビーW杯日本代表の歴史を塗り替える大活躍・大躍進だろう。そしてその中心にいた五郎丸選手。独特のルーティンが注目される彼であるが、実は大学はラグビーの名門・早稲田大学出身で、一年生から活躍した超大物

好きな大学ラグビーに足を運んでみる。しかし、大学卒業後、社会人・日本代表では、彼の経歴からすれば選手として燃つていたともいえる。いわゆる伸び悩み

「自分」を破壊すること。だが「今まではこうだった」とか「これくらいいい」「面倒くさい」という言葉を並べ立てて、変化を恐れないでやろうか。一歩を踏み出し、新しい自分へ。そんな挑戦を私はしっかりと支えて

ひとり旅が好きである。だけれど連れ立って、肌に触る空気や、思考が全部止まってしまうような見たこともない景色を共有することも悪くないし、何より食事と一緒にできることも楽しい。それでも、ひとり旅はいい。いつもやると数日前になつて宿泊予約サイトで宿の空きを見つければ、交通チケットを予約する。どこに行くのも、どれくらい時間を取るにも誰にも干渉されず自分の判断が優先される。その一方で、何か間違いをしても自分で責任を取るしかない(都合が悪くなり海外チケットをふいにしたことがある)。

(市橋祐介)

高校一年便り

ひとりになる

ひとり旅が好きである。だけれど連れ立って、肌に触る空気や、思考が全部止まってしまうような見たこともない景色を共有することも悪くないし、何より食事と一緒にできることも楽しい。それでも、ひとり旅はいい。いつもやると数日前になつて宿泊予約サイトで宿の空きを見つければ、交通チケットを予約する。どこに行くのも、どれくらい時間を取るにも誰にも干渉されず自分の判断が優先される。その一方で、何か間違いをしても自分で責任を取るしかない(都合が悪くなり海外チケットをふいにしたことがある)。

去年の夏には、かなり思い切ったロンドンにひとりで行った。駐在中の友人が空港で待ってくれていたと言え、トランジットも含めた飛行機での移動や、ろくでもない英会話力での入国審査は不安でたまらなかつた。しかし、日本で多くの人に囲まれて安穩としていた自分から、あらゆるものがそぎ落とされて「自分」のみがそこにあるような気がした。

旅に限らず、ひとりになることで、現在の「自分」をみる事ができる。となく誰かが居てくれることは心地いいし、安心することでもある。だけど、そう遠くない未来に必ず「自分」そのものが試される時がくる。そのときに、だれでもない「自分」をほんとうに頼れるのか。その時のためにも、ひとりになるのも、なかなか悪くないかなと思

(正村多佳子)

高校二年便り

高校三年生を迎えるにあたって

時が経つのは本当に早いもので、高校一年生の時に初めて授業を担当してから、気づけば君たちはもう高校最上学年になろうとしている。来年度の今頃は、君たちの卒業式が行われているという事を嬉しく思うと同時に、やはり少し寂しい思いを抱いてしまいます。

君たちの多くは、卒業後は大学へ進学することを視野に入れていて、毎日近くで大学生を目にして、自分も早く彼らのようになりたいと思つている人も多いのではないだろうか。

その為に、高校三年生としてやらなければならぬ最後の仕事のひとつが卒業になります。本校の授業の多くは大学入試に重きを置かず、また他の私立や公立の学校と比べてみても、卒業するために生徒が論文書くという学校は極めて少数な

「何故大学へ行くのか、大学で何をやるのか」ということを真剣に考えてもらいたいと思つています。大学へ行くことをゴールとせず、行くことをゴールとせず、その先の自分の進む道まで考えたうえで、各々が決断していつまでもいたいのです。大学へ行くと、自分の生き方の選択肢が沢山増えてきます。将来自分が後悔しない決断ができるようになるためにも、高校生の今から少しづつ準備をして

(新島亮)